

最新の文化財情報ピックアップ



《特集》伊勢市の指定記念物（その2）。今回は国史跡指定100周年を記念して離宮院跡〔りきゅういんあと〕をご紹介します。詳しくは第一面で。お楽しみに！



❁臥竜梅の菌❁ 天然記念物臥竜梅を移植しました。第二面上で。



まちかどに歴史あり 市内各地に潜む歴史をご紹介します。第二面左下で。



❁宮川堤と桜たより❁ 事業内容をご紹介します。第二面右中で。



📖新刊図録のご案内📖 新刊図録の情報を案内をします。第二面右下で。

《特集》伊勢市の指定記念物(その1)

記念物とは

記念物は次の1～3の文化財の総称です。

1. 貝塚、古墳、都城跡、城跡旧宅等の遺跡で歴史上または学術上価値の高いもの《史跡》
2. 庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳等の名勝地で芸術上または鑑賞上価値の高いもの《名勝》
3. 動物、植物及び地質鉱物で学術上価値の高いもの《天然記念物》

〔離宮院跡〕りきゅういんあと

場所：小俣〔おばた〕町本町〔ほんまち〕 国史跡 指定年月日：大正13年（1924）12月9日

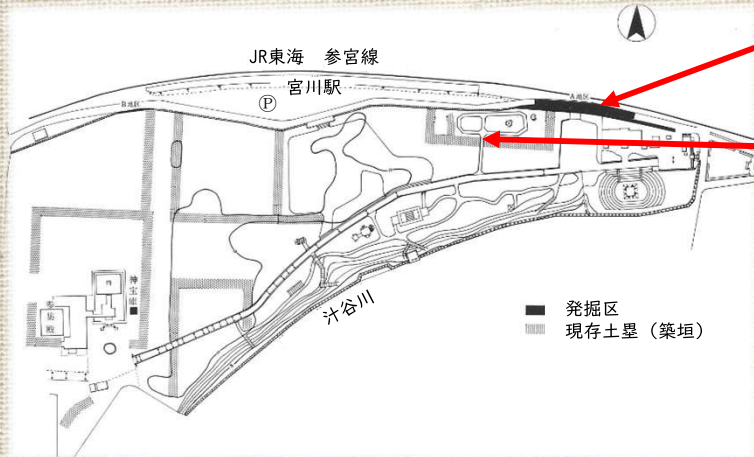
離宮院跡は、昭和47年（1972）に公園として整備され、昭和55年（1980）をはじめ現在までに6回の発掘調査が行われました（史跡指定範囲外を含む）。

離宮院は、斎王が天皇の名代〔みょうだい〕として毎年6月・12月の月次祭と、9月の神嘗祭に参拝する際に宿泊した所です。平安時代には大神宮司（神宮の祭主）の政庁、度会郡の駅家、その他神官、官人などの宿舎が置かれ一大官庁街を形成していました。始まりは延暦16年（797）に度会郡沼木〔ぬき〕郷高河原〔たかがわら〕（現在の伊勢市駅西側）から移したものと伝わります。天長元年（824）から承和6年（839）に大火が起こるまでは「常の斎宮」となっていました。また、史跡内に鎮座する官舎神社は、大神宮司を代々務めた大中臣〔おおなかとみ〕氏が祀っていた「中臣氏祖神」の流れを汲んでいます。

離宮院跡の範囲は離宮院公園の南側部分から、北は小俣小学校辺りまであったと推定されています。宮川駅（JR参宮線）の周りに広がっていた官衙〔かんが〕に思いを馳せてみてください。



八角門跡（昭和47年の発掘調査時）



離宮院跡発掘位置図



離宮院跡 現存土塁（築垣）



臥竜梅の園

臥竜梅移植！ 御園〔みその〕町新開〔しんがい〕にある新開臥竜梅公園の臥竜梅〔がりゅうばい〕は昭和46年（1971）8月1日に村（現在は市）の天然記念物に指定されました。この梅には菅原道真が御傍に仕えていた今村師親〔もろちか〕に愛でていた梅の種を植えさせたという伝説があります。現在も樹幹が地を這う梅の木が残っており、実を多く結ぶことから「座論梅〔ざろんばい〕」とも「八房の梅〔やふさ／やつふさのうめ〕」とも呼ばれます。

近年、昆虫が媒介するウメ輪紋ウイルス（プラムポックスウイルス）侵入の危機が高まったことと新開臥竜梅公園内の生育環境改善のため、御園小学校と山田奉行所記念館に臥竜梅3本を移植しました。



御園小学校 学校園（R5.2.16）
※ 外からお楽しみください



山田奉行所記念館 駐車場（R6.2.6）

まちかどに歴史あり

市内各地にはいろんな歴史があります。文化政策課では約200か所に文化財案内板などを設置しています。みなさまの傍にも、きっと……

佐八〔そうち〕 藤波遺跡（藤波の里）

佐八町字藤波の佐八藤波遺跡は縄文時代の遺跡では市内最大の規模を誇ります。縄文・弥生時代の数多くの石器、土器が出土しています。案内板は佐八小学校内にあります。ご覧になりたい際は学校へお問合せください。



阿弥陀如来立像・田丸中務寄進状

小俣町元町の寺院、無量寺の境内にあります。無量寺は明和町の安養寺末寺で、寄進状は安養寺に保管されています。



阿弥陀如来立像『小俣町史』より

宮川堤と桜たより

堤の桜を一部更新！ 度会橋より上流側の本堤上及び町へ降りるスロープ上の桜が植え替えられました。植栽場の土壌改良を実施し、桜の生育環境を整え、ソメイヨシノの新たな株を植樹します。9年後に控えた神宮式年遷宮までに従来の宮川堤のような桜のトンネルができることでしょう。

新刊図録のご案内

冬季企画展 **大湊 船と人**
—歴史を刻む旧市川造船所資料—

令和6年1月16日～29日までいせ市民活動センターで、大湊の造船展を開催しました。

この度、展覧会の図録を販売しました。古から栄えた大湊の造船の歴史を旧市川造船所資料とともにご紹介します。

販売は文化政策課窓口にて。

判型等：A4判18頁
（フルカラー）
定価：200円



販売図録の紹介は左のHPにあります

